

第14回 未来ひらめき創造塾

実施レポート

開催概要

【目的】

青森県内の中学生を対象に、他の誰も考えないような奇抜な発想や直感を自らの内に探り・育てる体験を通して、無から新しいものを創り出すことの大切さや、創造力を発揮して未来を切り拓いていくことの楽しさを学ぶ。

【参加者】

青森県内の中学生 28名
(男女別内訳 男子14名、女子14名)
(学年別内訳 3年生5名、2年生14名、1年生9名)

【開催日時】

令和8年7月26日(日)～29日(水)

【会場】

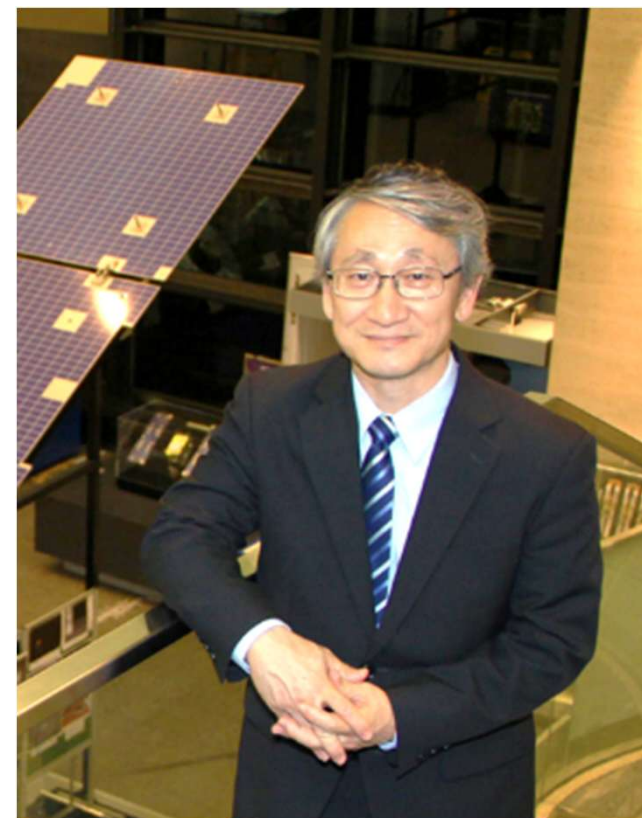
アピオあおもり(青森市中央3-17-1)
新町キューブ(青森市新町2-6-25)
青森県総合学校教育センター(青森市大矢沢野田80-2)※宿泊

【参加費】

15,000円(宿泊費、食費、保険料など)

【塾長】

オーストラリア国立大学教授・元宇宙航空研究開発機構(JAXA)
「はやぶさ」プロジェクトマネージャ 川口 淳一郎 氏



<プロフィール>

弘前市出身。宇宙工学者、工学博士。1978年、京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループプログラムディレクタ(JSPEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務めたほか、ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わった。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)宇宙飛翔工学研究系教授、2011年8月よりシニアフェローを務め、2021年3月JAXA退官。現在はオーストラリア国立大学教授。

全体カリキュラム

Inspiration Camp in Aomori 2026 (第14回未来ひらめき創造塾) カリキュラム

		7:00		8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		22:30	
1	7/26 (日)													受 付	開塾式 12:30- 13:15	準備	ウォーミング アップ 13:20-14:15	休憩	■チャレンジ プロジェクト1 <新しい○○づくり> 14:25-16:45	バス 移動 16:45 -17:15	チ ェ ッ ク イ ン	夕食・休憩 17:30-18:30	アイデア出し 仲間づくり 18:30-20:00	MTG 20:00- 20:10	入浴 自由時間 ※入浴は21:30まで (以降ボイラー停止)	消灯 ・ 就寝									
																											アビオあおもり								
2	7/27 (月)	起床	朝食 ・ 部屋清掃	バス 移動 8:45- 9:15	準備	◇塾生と講師のひらめきゼミナール1 (グローバル編) 9:30-12:30						昼食・休憩 (弁当) 12:30-13:30		川口塾長講話 13:30-14:30		休憩	アイデア内容調整・中間発表 14:40-16:45				バス 移動 16:45 -17:15	夕食・休憩 17:30-18:30	仲間づくり チャレンジ編 事前準備 18:30-20:00	MTG 20:00- 20:10	入浴 自由時間 ※入浴は21:30まで (以降ボイラー停止)	消灯 ・ 就寝									
						青森県学校教育センター						アビオあおもり															青森県総合学校教育センター								
3	7/28 (火)	起床	朝食 ・ 部屋清掃	バス 移動 8:45- 9:15	準備	◇塾生と講師のひらめきゼミナール2 (仲間づくりチャレンジ編) 青森でマイナースポーツの国際大会を開催しよう 9:30-12:30						昼食・休憩 (弁当) 12:30-13:30		■チャレンジプロジェクト2 (フィールドワーク準備・事前プレゼン) 13:30-16:45						バス 移動 16:45 -17:15	夕食・休憩 17:30-18:30	フィールド ワーク 最終準備 18:30-20:00	MTG 20:00- 20:10	入浴 自由時間 ※入浴は21:30まで (以降ボイラー停止)	消灯 ・ 就寝										
						青森県学校教育センター						アビオあおもり														青森県総合学校教育センター									
4	7/29 (水)	起床	朝食 ・ 部屋清掃	チ ェ ッ ク ア ウ ト	バス 移動 8:45- 9:15	準備	■チャレンジプロジェクト2 (フィールドワーク) 私たちが考える青森の新商品・サービス 9:30-12:00						成 果 報 告	開 塾 式 12:30- 13:00																					
							青森県学校教育センター																								新町 キューブ		青森駅・ベイエリア周辺		
		7:00		8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00			

【1日目】 7月26日(日)12:30～13:15

【出席者】

- ・塾生28名及び保護者
- ・川口塾長
- ・宮下知事

【場所】

アピオあおもりイベントホール

【次第】

開会

塾生自己紹介・知事激励

知事あいさつ

川口塾長あいさつ

記念写真撮影



ウォーミングアップ

未来ひらめき創造塾

【1日目】7月26日(日)13:20~14:15

【趣旨】

居住する地域や学校規模の異なる中学生が集まることから、緊張感を解きほぐすことを第一に考え、3つのゲームを行う。ゲームを通して、緊張を解きほぐすことで心の壁を取り払い、以降のプログラムへの導入を円滑に行う。

【場所】アピオあおもり イベントホール

【内容】

(1) ジャンケン列車(10分)

- ・それぞれがジャンケンをして、負けた人が勝った人の後ろにつく
- ・最後に先頭にいる人が勝ち
- ・列が5~6本になったあたりから、出す手を事前に宣言してからじゃんけんすることとする。

(2) 2つの真実と1つのウソ(15分)

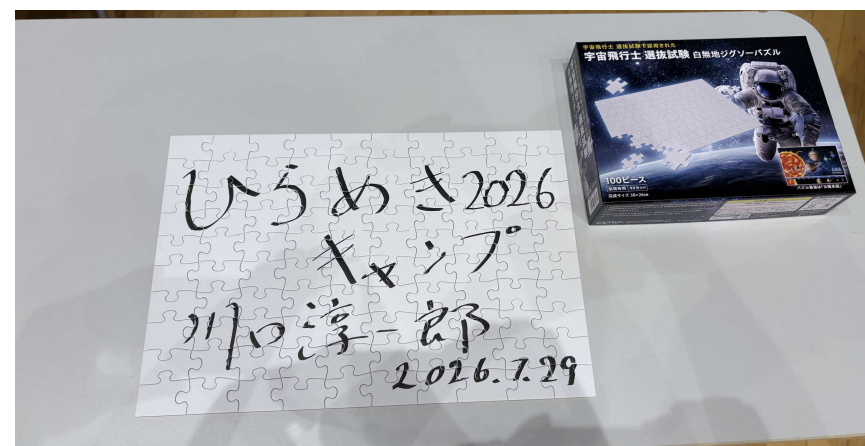
- ・4人7グループに分けて実施
- ・自分に関する情報、2つの真実と1つのウソを発表する。
- ・聞いている者はどれが嘘かを当てる。

(3) パズルピース探しゲーム(35分)

- ・100ピース7セットのパズルのピースを混ぜて7等分、7チーム分のピースの山を作り、各チームに配布する。
- ・他チームともコミュニケーションを取り、ピースの交換などをしながら、各チーム担当図柄の完成を目指す。

【塾生の声】

- じゃんけん列車という懐かしい遊びを通して絆ができた。
- 様々な人と協力してパズルを作る事で、最初から雰囲気良く始める事ができた。
- 友達をつくるきっかけとなった。自然に仲良くなれた



チャレンジプロジェクト1 <新しいビルづくり>

【1日目】7月26日(日)14:25~16:45

未来ひらめき創造塾

【趣旨】

指定された材料のみを用いて、創造性を養い、協働することで他者を理解する

【場所】アピオあおもり イベントホール

【概要】

割り箸とゴムのみで荷重に耐えられる構造物を作成する。

前半と後半で条件指定を変更して実施する。

(前半) 高さ勝負

- ・500mlのペットボトル1本をいかに高い位置に設置できるかを競う。

(後半) 荷重勝負

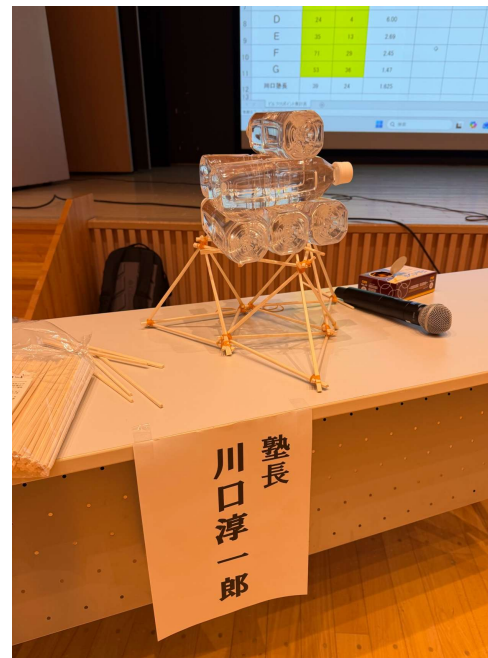
- ・500mlのペットボトルを何本設置できるかを競う。

(設置位置10cm以上)

【塾生の声】

■最後までベストを目指すのが楽しかった。色々な形を試行錯誤するのが楽しかった。

■友達をつくるきっかけとなった。自然に仲良くなった



塾生と講師のひらめきゼミナール<グローバル編>

未来ひらめき創造塾

【2日目】7月27日(月) 9:30~12:30

【趣旨】

いろいろな国や地域にルーツを持つ方々と対話しながら、「同じところ」「違うところ」「なぜそうなのか」を見つけ、自分が当たり前だと思っていたことを見つめなおすきっかけとする。

【場所】アピオあおもり イベントホール

【企画・運営】

講師:市民による国際協力実行委員会 菊池 昌子 氏
(一社)青森市国際交流協会 斎藤 誠子 氏
ARUDO 代表 工藤 宏匡 氏
青森中央学院大学国際交流課 金川 利江子 氏
風晴 彩雅 氏

ゲストティーチャー:留学生、国際交流員、ALT等(11名)

【内容】

- (1) 講師・塾生自己紹介(30分)
- (2) ピックアップゲーム、ミッションカードゲーム(30分)
- (3) ワールドカフェ(90分) ※3セット+気づきの共有、講師講評
- (4) 塾長総評(5分)

【塾生の声】

- いろいろな国から来ている人たちと話し合える貴重な体験だった。様々な個性を知れた。
- 日本人が考えつかないような考えや、いろんな考え方を知れて、多面的な考えができたので面白かった。
- 海外の方と会話が弾んでうれしかった。
- 海外のことを知っている方だと思っていたが、まだ知らない世界がたくさんあることに気づいた。
- 実際に外国人の方と話して、私が想像しているものとは違い、聞いていてとても面白かった。実際に旅行して体験してみたい。
- 自分の英語力も試すことができて、有意義な時間になった。



【2日目】 7月27日(月) 13:30~14:30

【趣旨】

川口塾長の講話を通して、塾生がこの塾の趣旨を再確認するとともに、塾長との交流を図る。

【場所】アピオあおもり イベントホール

【内容】

- (1) 川口塾長からの講話(50分)
- (2) 感想・質問タイム(10分)

【塾生の声】

- どんなトラブルが起きても決して諦めず、斬新な「ひらめき」で解決していく姿が格好いいと思った。
- 先生のお話から、失敗を恐れずに挑戦する大切さを学ぶことができた。
- 出来ると思ったことをずっと挑戦し続ける事が大事だと聞き、私も実践していきたいと思った。



ひらめきゼミナール2 <仲間づくりチャレンジ編>

未来ひらめき創造塾

【1～3日目】7月26日(日)～28日(火)

【趣旨】

各人の主張、同類の考えを持つ者同士の仲間づくり、意見交換を行うことで、合意形成に向けた過程を体験し、立案能力・合意形成力を養う。

【場所】アピオあおもり イベントホール

【内容】

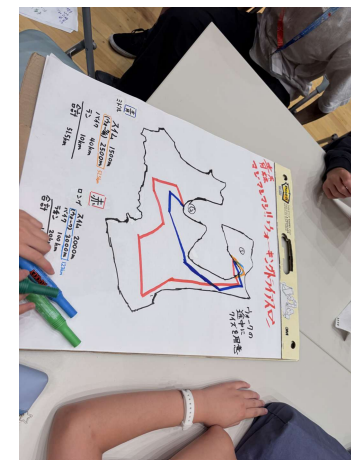
「青森でマイナースポーツの国際大会を開催しよう!」をテーマとし、仲間づくりや意見交換を経た上で、第14回ひらめき塾生として提案する企画案の採決を行い、採択された企画案を提案先に対し改めて発表する。

【提案先】

国スポ・障スポ局 出崎局長
県教育委員会 坂上理事
交通・地域社会部 奥田理事

【塾生の声】

- 本当に仲間ができてうれしかった。
- 課題が難しい。
- 何日か同じグループで協力して自分達の案を考え、他者の意見を聞いて協力することの大切さと楽しさを学びました。
- 色々な人と協力し、意見を広げていくことができた。色々な人と関わることでコミュニケーション能力がついた。
- お手本となるような人の姿を見て、自分もこうなれるように頑張ろうと思った。
- みんなと協力しながら、案を出して行って1つに仕上げるというのが本当に勉強になり、これからの人生で役立てたいと感じました。



チャレンジプロジェクト2 <フィールドワーク>

【3～4日目】7月28日(火)～29日(水)

未来ひらめき創造塾

【趣旨】

テーマに沿ったアイデアを考察し、県民・観光客等の興味・関心を沸かせる方策検討とその準備を協働し進める。

【テーマ】

私たちが考える青森の新品・サービス

【内容】

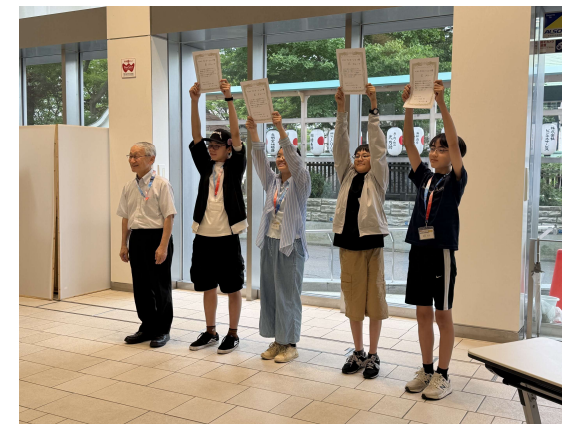
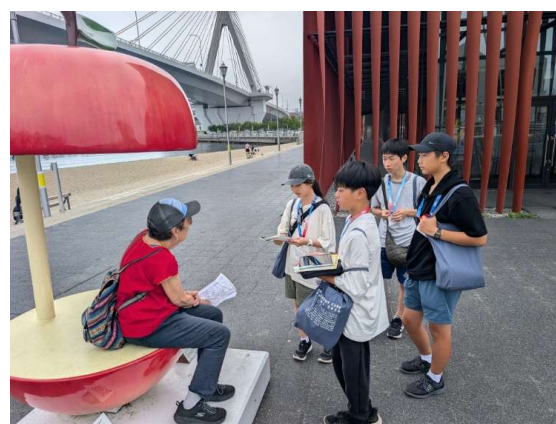
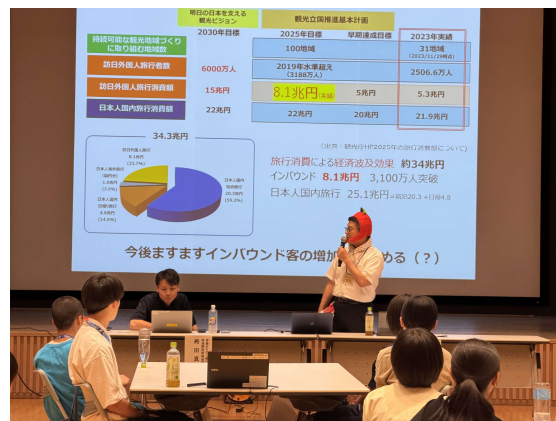
青森に関連するヒット商品・サービスのアイデアを講師から提示される課題から考案し、アイデアをスライドにまとめる。
青森駅前またはベイエリアで、県民・観光客に対するプレゼンテーションを行うフィールドワークを実施し、県民・観光客が、プレゼンした内容の評価をポイント化し、シールの枚数等で順位を競う。

【講師】

- ・(株)JR東日本青森商業開発(A-FACTORY)
主任 吉野 康太 氏
- ・青森みちのく銀行地域開発部地域開発課
プランナー 袴田 真悦 氏

【塾生の声】

- 学校の課題より難しかったが、それを乗り越えられる自分を見つけた。
- 自分たちで気づかなかったアドバイスをしてくれた人がいてとても参考になった。
- 外国人観光客の方と話すときに、英語が大切だと思った。
- 自分達の意見を知らない人に説明するというのが新鮮で面白かった。
- 外国の方に声をかけたときに、あまりうまく話せなくても、内容を汲み取ってくれた。
- 全く知らない人に話しかけるのがハードだが面白かった。



【4日目】:7月29日(水) 12:30~13:00

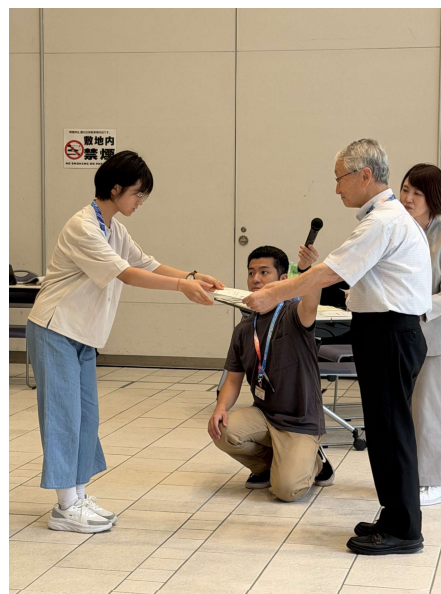
【出席者】

塾生
塾生の保護者
川口塾長

【場所】新町キューブ グランパレ

【次第】

開式
修了証交付
MVPアワードの贈呈
川口塾長あいさつ
記念写真撮影



宿泊施設での様子（青森県総合学校教育センター）



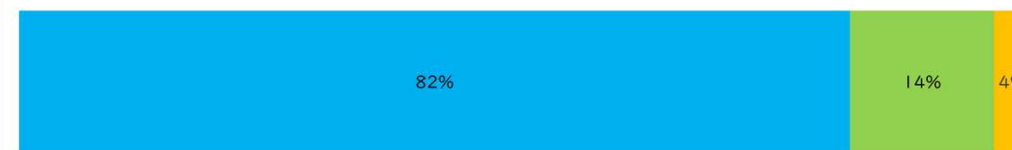
塾生の感想（事後アンケートより）

有意義な塾でしたか？



■ 良かった ■ まあまあ ■ 普通 ■ あまり良くなかった ■ 良くなかった

塾生同士で交流できましたか？



■ できた ■ まあまあ ■ 普通 ■ あまりできなかった ■ できなかった

会場はいかがでしたか？



■ 良かった ■ まあまあ ■ 普通 ■ あまり良くなかった ■ 悪かった

宿泊施設はいかがでしたか？



■ 良かった ■ まあまあ ■ 普通 ■ あまり良くなかった ■ 悪かった

この塾を知るきっかけは何でしたか？（複数回答可）



■ チラシを見て（学校から配付された） ■ チラシを見て（学校以外の場所）
 ■ ホームページを見て ■ 保護者や兄弟（姉妹）からの勧め
 ■ 学校の先生からの勧め ■ 友人から誘われて
 ■ その他

来年度も参加したいですか？ （1,2年のみ）



■ ぜひ参加したい ■ できれば参加したい ■ 参加しない

保護者の感想①（事後アンケートより一部抜粋）

■期間中だけではなく、終わった後にも学びを深める姿に、よい機会をいただいていたのだとあらためて感じました。苦しいときに、スタッフの方にかけていただいた言葉が力となり、課題に向き合うことができたようです。

■出発前は、少し緊張していたようでしたが、4日間、さまざまなテーマに向けて、仲間と試行錯誤しながら、やり遂げることが出来たようで、大きな自信につながったように感じます。一回り成長した姿を見ることができ、参加して良かったと、心から思っています。

■とても成長して帰って来ました。自分よりできる人、個性的なキャラクターの人や違う考え方をする人と同じ時間を過ごし、同じ釜のご飯を食べ、そして同じプログラムを行った経験を得て、自分も最後までやりきった内の1人なのだと、とても自信になった様です。親子共に挑戦し、成長できました。

■様々な考え方の人に触れることができ、またこどもたちのために一生懸命動いてくださるスタッフの皆様を間近で見て感じれたことは貴重な体験だったと思います。川口塾長のお話をもっと聞きたかったと話していたのが最も印象的でした。

■いろんな意見を言う人がいて、それを受け止めて、どうまとめていくか、難しいと感じただけでもよかったのではと考えています。学校だとここまでじっくりなメニューはできないでしょうから、いまはわからなくても、何かの機会にそういえばと、思い出せる経験になったのではないかと思います。

■知らない人達の中に飛び込み、自分達でアイデアを出し、自分達でマーケティング、プレゼンをするという、学校の授業では学ぶこと事がない、とても貴重な体験をさせて頂きました。この未来ひらめき創造塾で行ったプログラムは、社会人になってからも必要なものだと思います。今回の経験を活かして、これからも様々なことに挑戦して行って欲しいです。

■宮下知事からの愛ある励ましの言葉から始まり、わくわくしている様子が背中から感じられました。日常から離れることがやはり重要な時期だと思います。

保護者の感想②（事後アンケートより一部抜粋）

■本人は「人前で発表するのがとても大変だった」と言っていたのですが、塾が終わってから彼女の行動に変化があって親としては行かせて良かったと思っています。具体的には、「先を見て考え行動できるようになった」「手伝いを進んでするようになった」といった点です。そして、今までは家族やこども園や小学校、中学と同じ友達でしか行動してこなかったことから、一人だけで見ず知らずの人達に囲まれて生活するというのはとても貴重で、これからの将来にとってプラスになることだと思います。

■初めてこの塾に参加して、様々な地域の子、海外の方と交流できたことで新しいことを始めることに対して自信がついたと思っています。一緒に参加した子たちと会う機会はほぼないと思いますが、何年かに一回、参加者が集う場があったら様々な情報交換もできいいのではと思います。

■川口先生の理系の視点からの仕事の進め方に興味を持ったと思います。青森県でこのような企画が毎年続いていることを、青森県人として誇りに思います。ぜひ続けてください。

■社会的にも今後の為にいろんな勉強が少しでも必要だと本人が自覚出来て頑張ってもらえたら親としては嬉しいです。

■初めての友達との宿泊学習は初体験で、社交的な性格の息子でも最初は緊張していたので、親としても心配でした。終わってみれば、すごく楽しかった！お友達がたくさんできた！外国の人と話す機会もあって刺激になった等、楽しかった出来事をたくさん話す息子の姿に安心しました。息子自身の成長に大きく影響を与える四日間だったのではないかと思います。

■昨年度仲良くなったお友達が抽選に漏れ、一緒に参加できないことがわかったときはかなり不安がり、行くのを拒んでいましたが、やっぱり充実し楽しい時間だったようで、とても元気に明るく、「自己肯定感が高まった！」帰ってきました。小さいうちから色々な経験を積んで、今後活かして欲しいという思いから親として参加させましたが、2年連続充実した時間を経験することができたようで、参加させて良かったです。大人でも頭を悩ませしまうようなテーマのプログラムを中学生のうちから体験できることは非常に有意義です。初対面の子と短い時間の中で仲良くなり、その後も連絡を取り合っているのを目にすると自分の時代にはなかったことであり、羨ましくも感じております。

保護者の感想③（事後アンケートより一部抜粋）

■勉強のできる学校の生徒が多く、勉強しなくてはと思ったそうです。いつものメンバーではない生徒と活動したり、温かい大人に見守っていただいて、感謝いたします。

■同世代のさまざまな考えを持つ子どもたちと交流でき、とてもよい経験になったことと思います。

■普段の学校生活では体験しないようなカリキュラムが組まれているので、親である私たちも、子供たちがどんな学びを得てくるのか毎回楽しみです。活動を終えて帰ってくると積極性が増している様子が見て取れます。

■いろんなことに興味はあっても、人とコミュニケーションを図ることや人前での発表が苦手な息子が積極的に参加したいと自ら応募した姿に成長を感じて、とても嬉しく思っております。プロジェクトでは、うまく表現できなかったり、意思疎通がうまくいなくて、もどかしい場面もあったことかと思いますが、塾が終わって、晴れ晴れとした本人の表情が、とても良い経験をしたことを物語っていました。

■前日は知らない人のところに行くので気が重そうだったので、帰ってきたら来年も行きたいの回答が返ってきたのが意外でした。そう思わせてくれる体験があったということなのでとても有意義だったと思います。

■今回本人はあまり乗り気ではなかったのですが、数年前に姉も参加させていただいており、まずは行ってみなさいと送り出しました。正直どんな顔をして帰ってくるのか心配ではありましたが「楽しかった！来年も参加したい」という前向きな感想でしたので親としてもとても嬉しかったです。塾生同士だけではなく、街へ繰り出しての初対面の方とコミュニケーションをとるなど、大人でも大変そうな事をやってのけた経験は間違いなく本人の財産になったと思います。